

2016年4月13日

## 新しいヤクルト中央研究所が完成 ～生命科学分野での最先端の研究を行う“森と水に囲まれた研究所”～

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）では、当社の研究開発拠点である中央研究所について、一連の新設工事が終わり、2016年4月15日に完成しますのでお知らせします。

当社は、1967年、東京都国立市谷保（現 東京都国立市泉）に乳酸菌研究の拠点として中央研究所を設立しました。その後、研究開発力の強化を目的に、2006年から2010年にかけて同地に「食品研究棟」などを新設しました。2012年からは、4つの研究棟（研究管理棟、基礎研究棟、医薬品・化粧品研究棟、品質・技術開発棟）の新設工事と、最新鋭の研究機器・設備の設置、研究環境の整備を行ってきました。

当社では、中央研究所における腸内フローラやプロバイオティクスなどの基礎研究および食品、医薬品、化粧品の商品化研究を加速させ、これらの研究活動を通じ、科学技術の推進や社会の発展に寄与していきます。

新しい中央研究所の概要については、下記のとおりです。



### 記

#### 1. 中央研究所の概要

- (1) 所在地 東京都国立市泉5-1-1
- (2) 敷地面積 29,781.65 m<sup>2</sup>
- (3) 建築面積 14,048.73 m<sup>2</sup>
- (4) 延床面積 43,412.08 m<sup>2</sup>
- (5) 所員数 約300名
- (6) 基本コンセプト

#### 「森と水に囲まれた研究所」

研究所敷地は、北側が緑に覆われたハケ（崖の連なり）、南側が水路に囲まれています。当社では、周辺環境との調和に十分配慮し、環境対応に優れた「森と水に囲まれた研究所」を実現することで、コーポレートスローガン「人も地球も健康に」を具現化します。

## 2. 新設研究棟の概要

### (1) 研究管理棟（地上7階・地下1階）

研究所全体の統括・管理を担う事務・研究管理部門が使用する建物です。国際的な研究発表の場としての「国際会議場」、創始者 代田 稔博士の業績とその歩みを展示する「代田記念館」など“見せる”施設を併設しています。



### (2) 基礎研究棟（地上5階）

腸内フローラと健康の関わりや「健腸長寿」の概念を科学的に立証する研究を行います。プロバイオティクス研究の根幹を支える役割も担っています。



### (3) 食品研究棟（地上5階）

有用微生物や機能性食品素材の探索および有効性の評価を行い、また、乳酸菌を利用した発酵技術など生物工学的技術を用いた応用研究を行います。



### (4) 医薬品・化粧品研究棟（地上5階）

がん領域に特化した医薬品の開発研究や、有用微生物を利用した機能性化粧品などヤクルト独自の開発研究を行います。  
また、受託分析を行う分析センターを併設しています。



### (5) 品質・技術開発棟（地上3階）

主に食品素材の開発研究に関わる技術開発のためのプラント室を備えるとともに、関係会社のヤクルト薬品工業株式会社の本社機能と品質管理機能を有しています。



### 3. 附属施設の概要

#### (1) 国際会議場（研究管理棟 地下1階～地上2階）

座席数320席、2つの同時通訳設備を有しています。国内外の研究者と、科学の領域で積極的に交流を深める場として活用していきます。



#### (2) 代田記念館（研究管理棟 3階）

代田博士の生い立ちやヤクルトの歴史、博士が提唱した「代田イズム」の世界への広がりなどを紹介する施設です。

代田記念館は、2016年7月下旬より一般公開する予定です。見学申込方法など詳細は、後日、ホームページに掲載します。



以上